

ENUM研究グループ分科会報告

2002年10月7日

ENUM研究グループ事務局

■ 第1会分科会

- 2002年9月17日(月) 10:30～12:30@JPNIC会議室
- 資料
 - 1) ENUM研究会における検討内容について (NTT)
 - 2) ENUM研究グループドキュメント (課題項目) の整理に関するコメント (JPRS)
 - 3) 第1回研究会資料抜粋(JPNIC)
 - 4) ENUMの前提となるネットワーク構造 (案) (NTT)
- 検討概要
 - 分科会, 当面は佐野(JPNIC)がとりまとめ.
 - 検討の前提となるネットワークアーキテクチャの構成が重要.
 - 情報管理の主体: 電話は事業者, インターネットはユーザ
 - WHOISは電話にはない概念. インターネットでは公開が原則.
 - 050には固執しないほうがよいのではないか.
 - この研究会のスコープはユーザENUM、プロバイダENUM?
 - 「ENUMでどこまで解決しようとしているか」の整理が必要.

■ 第2会分科会

- 2002年9月24日(火) 10:30～12:45 @ JPNIC会議室
- 資料
 - 1) ベースドキュメント記述事項の確認(TTNet)
 - 2) ENUMの位置づけについて(沖電気工業)
 - 3) ENUMの位置付けに関する議論のためのコメント (KDDI)
 - 4) ENUMの位置付けについて(NTT-COM)
 - 5) 「2章. ENUMの位置付け」について(三菱商事)
 - 6) ENUMの位置付け(JPRS)
 - 参考1) E164 Number Portability 関連 略語集 (IETF ENUM-WG 資料より)

- 参考2) ENUM関連 用語&略語 (ITU-T資料より)

• 検討概要

- 本研究会が検討するアプリケーションは、IP電話のみか、他のアプリケーションも検討対象とするのか.
- 対応する番号空間は?
- 国際、公衆、ユーザENUMを優先すべき.
- Infrastructure ENUM と User ENUM を わけて検討すべき(KDDI資料参照).
- ENUMによって解決されるものの整理が必要(NTT Com 資料参照)
- UKEGのレポートについては各自が読むことが必要

■ 第3回分科会メモ

- 2002年9月30日(月) 10:30～12:30 @ JPNIC会議室

• 資料

- 1) 北米における電話番号(三菱商事)
- 2) 検討事項の提言等 (インターネットフォーラム)
- 3) ENUMの位置付け～軸の検討～【修正版】 (JPRS)
- 4) ENUMの評価軸、分類について(案) (NTT)
- 5) ENUM研究グループ ベースラインドキュメント2章 (NEC)

• 検討概要

- 北米の番号ポータビリティの状況についての解説. 電話番号はだれのものか?
- 電話サービスを中心に検討すべき.
- 電話屋文化 vs インターネット屋文化.
- IP電話でSIP以外も対象にすべきか? 当面は 事例としての SIP だけで良い.
- ENUMの分類について再整理 (→再整理)
- 第2章のドラフト(NEC)

■ 資料

ENUM研究グループホームページ 会議資料よりアクセス可能

☞ <http://www.nic.ad.jp/enum-rg/index.html>